

# 文化部会

有馬街道 真星病院 にて  
文化部「男声合唱団」黒田 宏

真星病院は神戸電鉄の谷上駅から一つ目の駅、花山から徒歩で5分の所に位置している。この病院もだんだん大きくなり、4月には増築工事が完了し、完成記念を兼ねたお祝いと慰問活動のためにいつものように男声合唱団とフラダンスが駆けつけ、入院患者と一緒に楽しいひとときを享受した。

演奏会場としては、受付ロビーと言うこともありあまり良い環境とは言えなかったが、平均年齢70歳の割には皆大変元気で大いに唄い喝采を浴びた。

最近癒し系の一つに、「音楽療法」が挙げられている。これは「音楽のもつ生理的、心理的、社会的働きを、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上に向けて、意図的、計画的に活用して行われる治療技法である」とされている。

我々の活動が上述の定義を満たしているとは決して思わないが、音楽を聴く楽しみ、また患者と一緒に歌う時の喜び、特に今回もそうであるが、民謡を歌ったとき皆が手拍子でこれに応え会場が一つになって音楽を満喫することができるのは何ものにも代えがたい。

当病院は院長が眼科の女医で、男声合唱団員の小西氏が治療を受けた

## 親子で集まれ昔あそび塾 2

好評だった前回を受けて第2回のあそび塾が3月9日(日)午後1時からシルバーカレッジのホールを中心に開かれました。対象は小学生親子で約260名が参加しました。今回はステージでお手玉とマジックのパフォーマンスがあって子供たちを喜ばせました。ホールでは竹とんぼ、紙飛行機、こま回し、あや取り、お手玉、折り染め、まりつきなどの手ほどきを受けてそれぞれに楽しんでいました。



こともあり、今回の慰問演奏を計画したものである。

これからのボランティア活動は相手から依頼がくるまで待機すると言うのではなく、今回の如く積極的にこ

ちらから申し入れをして、喜んでもらえるような活動にしていかなければならないのではないだろうか。そのためにはまた地区部会の皆様のご協力を得て推進すべきと考える。



ふれあいホールの片隅では紙芝居が上演され、終わると飴玉などを売って、これはやっている大人の方が昔を懐かしんでいたようでした。

中庭では指導の人や親御さんが竹

馬のりを伝授しており、ちらつく小雪も気にせず、中庭の横断に挑戦していました。

3時で解散となりましたが、子供たちは遊び足りないようでした。(広報)